

中継サーバーシステムを使用するためには、インストール後、管理者用ページにアクセスし、設定作業を行う必要があります。

ここでは、管理者用ページへのアクセス方法と、設定項目について説明します。

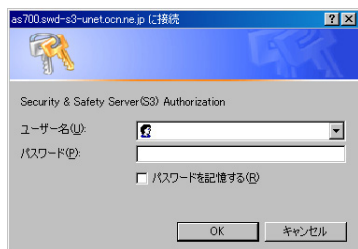
# 管理者用ページの表示方法

- 1 Webブラウザを起動し、中継サーバーシステムのトップページを表示します。

`http://(中継サーバーシステムのアドレス)/s3/Japanese/  
中継サーバーシステムのアドレスはシステムによって異なります。`

- 2 [管理者用ページ]をクリックします。

認証画面が表示されます。



管理者用ページは、以下のアドレスを入力して表示することもできます。同様に認証画面が表示されます。

`http://(サーバーアドレス)/s3/Japanese/cfg/  
サーバーアドレスはお客様の環境によって異なります。`

注: 中継サーバーシステムを設定するときは、Internet Explorer 5.5 SP2または 6.0 SP1をお使いください。その他のWebブラウザでは正しく設定できないことがあります。

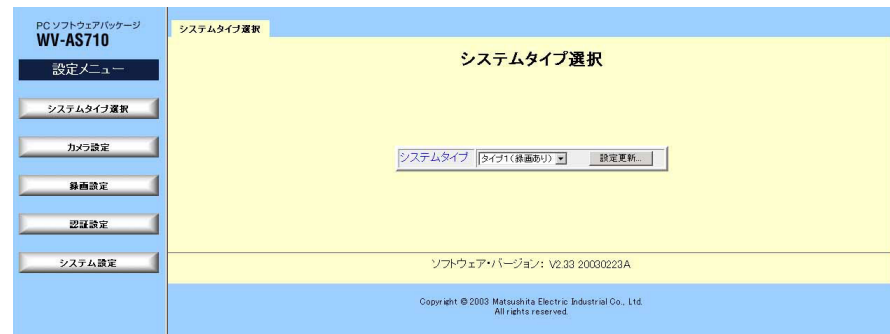
- 3 管理者の「ユーザー名」および「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

**ユーザー名:** 管理者グループに登録されているユーザー名を入力します。

**パスワード:** パスワードを入力します。

インストール直後は、管理者のユーザー名(admin)とパスワード(インストール時に登録したパスワード)を入力して認証してください。

管理者として認証されると管理者用ページが表示されます。

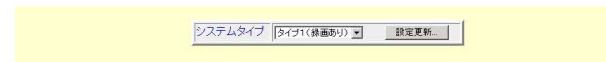


- 4 管理者用ページ設定メニューから設定したい項目をクリックして設定項目を選択します。

設定項目によっては、タブが複数表示されるものがあります。タブをクリックすれば、設定項目を切り替えることができます。

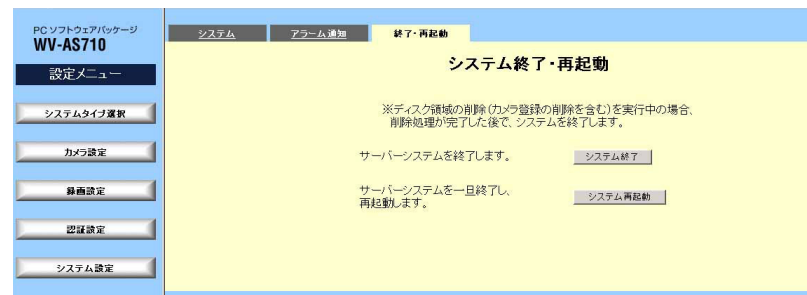
- 5 設定を変更した場合、各ページの[設定更新]をクリックします。

確認メッセージが表示されます。メッセージに従って操作してください。



- 6 中継サーバーシステムを終了または再起動するときは、[システム設定]→[終了・再起動]の順にクリックします。

「システム終了・再起動」ページが表示されます。



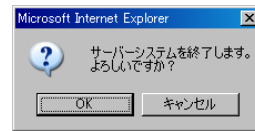
# 管理者用ページの表示方法

中継サーバーシステムを再起動するときは、[システム再起動]をクリックします。中継サーバーシステムを終了するときは[システム終了]をクリックします。

【システム再起動をクリックした場合】



【システム終了をクリックした場合】



[OK]: 中継サーバーシステムを終了または再起動します。

[キャンセル]: システム終了・再起動ページに戻ります。

# 設定項目一覧

設定メニュー	タブ/設定ページページ名	設定メニュー	タブ/設定ページページ名		
システムタイプ選択	システムタイプ 選択 システムタイプを 選択します。	録画設定	フォーマット (ディスク領域 フォーマット) 録画対象のカメラで、 ディスク領域が未割 り当てのカメラに、 ディスク領域を均等 に割り当てることが できます。		
カメラ設定	カメラ設定 中継サーバーシス テムで使用するカ メラを管理します。		個別カメラ設定 「カメラ設定」よ り詳細な設定を行 うことができます。	スケジュール (録画スケジュール 一覧) 録画スケジュールの 一覧を表示します。	
	スケジュール カメラ休止スケ ジュール(ライブ画 像の配信を休止す るスケジュール)を 確認できます。		カメラ休止スケ ジュール設定 カメラ画像の配信 を停止する時間帯 を設定/消去します。	録画スケジュール 設定 録画スケジュールを 設定できます	
	録画設定		録画情報 カメラごとの録画 状況を確認できます。	アラーム録画 (アラーム録画設定) アラーム発生時の中 継サーバーシステム の動作を設定します。	
			ディスク領域初期 化設定 カメラにディスク 領域を割り当てます。		
	ディスク領域設定 録画データ用ディス ク領域を管理するた めのメニュー。		ディスク領域の追加 録画データ用ディス ク領域を追加します。		
			ディスク領域の削除 割り当て済みの録画 データ用ディスク領 域を削除します。		
			保護領域の開放 録画データ用ディス ク領域から保護領域 を開放します。		
			認証設定	ユーザー 登録済みのユーザー 名と所属するグルー プを確認します。	
				新規ユーザー登録 新しくユーザーを登 録します。	
			ユーザー登録変更 ユーザーの登録内容 を変更します。		
			カメラグループ カメラが所属するグ ループを設定します。		

次ページにつづく

# 設定項目一覧

## 設定メニュー

認証設定(続き)

システム設定

## タブ/設定ページページ名

**グループ名**  
グループ名を変更  
します。

**システム  
(システム設定)**  
中継サーバーシステ  
ムの基本動作を設定  
します。

**アラーム通知**  
アラーム発生時の通  
知先を設定します。

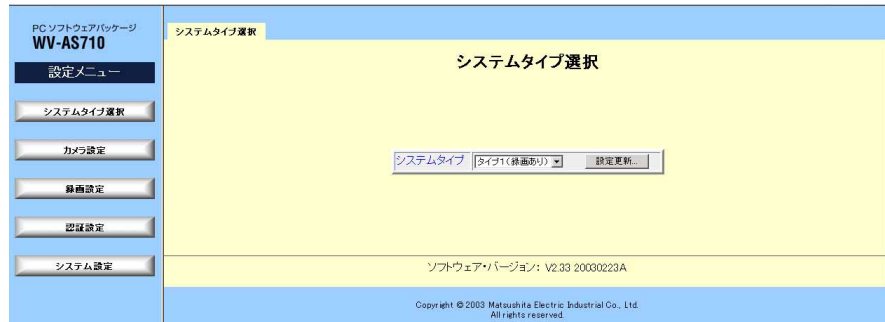
**Eメール宛先設定**  
通知先Eメールアド  
レスを登録します。

**TCPアラーム設定**  
TCPアラームの通知  
先を登録します。

**終了・再起動  
(システム終了・  
再起動)**  
中継サーバーシステ  
ムを終了または再起  
動します。

# システムタイプ設定

設定メニューから[システムタイプ選択]をクリックして表示します。このページで、中継サーバーシステムの動作タイプを選択します。システムタイプ1(録画あり)で使用する場合、あらかじめ録画データ用ディスク領域を作成しておく必要があります。



## ・システムタイプ

システムタイプを選択します。

**タイプ1(録画あり)** **タイプ1**: 録画データ用ディスク領域にカメラの画像を録画します。

**タイプ2(録画なし)**: ライブ配信のみ行います。録画は行いません。

## ・[設定更新]

システムタイプを変更するときクリックします。

[設定更新]をクリックすると、確認メッセージが表示されます。変更するとき、確認メッセージで[OK]をクリックし、再起動してください。

# カメラ設定

## カメラ設定ページ

設定メニューから[カメラ設定]をクリックして表示します。または、カメラ設定タブをクリックして表示します。このページでカメラの登録状況を確認できます。また、中継サーバーシステムに接続するカメラを登録または削除することができます。

注: 録画中に設定を更新することはできません。

カメラ番号	IPアドレス 000.XXX.XXX.XXX	チャンネル	機器種別/ 画像フォーマット	タイトル (06文字まで)	操作制限	機器設定 カメラ削除
1	192.168.0.10	1CH	WJ-NT104/JPEG	NT104	カメラグループ設定による	セホアアップ 削除
2	192.168.0.50	1CH	WV-NP472/JPEG		閲覧、プリセットのみ	セホアアップ 削除
3	cam1.pss.com	1CH	WV-NS320/JPEG		制限なし	セホアアップ 削除
4	cam2.pss.com@1	1CH	WV-NM100/JPEG		制限なし	セホアアップ 削除
5	192.168.0.41:81	1CH	WV-NM100/MPEG-4		制限なし	セホアアップ 削除
6					制限なし	セホアアップ 削除
7					制限なし	セホアアップ 削除
8					制限なし	セホアアップ 削除

### ・カメラ番号

カメラ番号をクリックすると個別カメラ設定ページを表示します。個別カメラ設定ページで、このページより詳しく設定することができます。

### ・IPアドレス

XXX.XXX.XXX.XXXの形式でカメラのIPアドレスを入力します。「XXX」は0~255までの10進数で指定します。または、指定されたFQDN(ホスト名に続けてドメイン名まで省略せずにすべて記述したアドレス)を入力します。

カメラが80以外のHTTPポートを使用して画像を配信する場合は、IPアドレスまたはFQDNに続けて「コロン(:)ポート番号」を入力してください。

入力例: 192.168.0.50:85

### ・チャンネル

登録するカメラがネットワークインターフェースユニットに接続されている場

合、カメラが接続されているネットワークインターフェースユニット(WJ-NT104)のチャンネル(1CH~4CH)を選択します。

ネットワーク端子を装備しているカメラ(WV-NP472、WV-NP400KT、WV-NS320、WV-NM100)を登録する場合は、1CHを選択します。

### ・機器種別/画像フォーマット

中継サーバーシステムに登録するカメラの種別(品番)とカメラが配信する画像のフォーマットを選択します。

**WJ-NT104/JPEG:** ネットワークインターフェースユニットに接続されているカメラを登録するとき選択します。

**WV-NP472/JPEG:** WV-NP472またはWV-NP400KTを登録するときを選択します。

**WV-NS320/JPEG:** WV-NS320を登録するときを選択します。

**WV-NM100/JPEG:** JPEG画像を配信するWV-NM100を登録するときを選択します。

**WV-NM100/MPEG-4:** MPEG-4画像を配信するWV-NM100を登録するときを選択します。

### ・タイトル

各カメラにタイトルを付けることができます。

### ・操作制限

登録するカメラの画像を見ることができるユーザーを制限する場合、条件を選択します。

**制限なし:** 操作制限を行いません。すべてのユーザーが録画以外の操作を行うことができます。

**閲覧、プリセットのみ:** ライブ画像を見る、およびカメラのプリセット操作を許可します。

**カメラグループ設定による:** [認証設定]から「カメラグループ設定」をクリックして、グループにカメラを登録してください。そのグループのオペレーター

# カメラ設定

はすべての操作を行うことができます(録画することもできます)。そのグループのモニターは、ライブ画像を見る、およびプリセット操作を行うことができます。それ以外のユーザーは何も操作できません。

**注:** 基本的に、カメラ画像の録画は管理者のみ行うことができます。「カメラグループ設定による」を選択した場合は、同じグループのオペレーターも録画できます。

## • 機器設定[セットアップ]

[セットアップ]をクリックすると、カメラまたはネットワークインターフェースユニットの設定画面(HTMLの設定ページ)を表示します。設定のしかたは、カメラまたはネットワークインターフェースユニットの取扱説明書をお読みください。ネットワークインターフェースユニットに接続されたカメラを設定するときは、ネットワークインターフェースユニットおよび接続されているカメラの取扱説明書をお読みください。

**注:** 以下の場合、カメラの設定画面を表示できません。

- PCからカメラなどの機器に直接アクセスできない場合
- 名前解決ができない場合

## • カメラ削除[削除]

登録されているカメラを削除します。削除すると、そのカメラの録画データも削除されます。クリックすると確認メッセージが表示されます。確認メッセージで、[OK]をクリックすると、登録されているカメラの情報を削除します。削除を中止するときは[キャンセル]をクリックしてください。

## • [設定更新...]

カメラの登録情報を更新します。クリックすると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージで、[OK]をクリックすると、このページで変更した内容すべてを中継サーバーシステムに送信し、カメラ登録情報を更新します。更新を中止するときは[キャンセル]をクリックしてください。

**注:** 設定更新を行わずに、他のページに移動すると、変更内容は中継サーバーシステムに反映されません。

## • 次ページへ/前ページへ

**次ページへ:** 複数のページがある場合に表示されます。クリックすると、次の

ページが表示されます。

**前ページへ:** 前ページがある場合に表示されます。クリックすると、1つ前のページに戻ります。



# カメラ設定

## 個別カメラ設定ページ

カメラ設定ページのカメラ番号をクリックして表示します。カメラごとに、カメラ設定ページより詳細な設定を行うことができます。

注: 録画中に設定を更新することはできません。

個別カメラ設定	
1番カメラ設定	
タイトル	NT104
IPアドレス XXXXXXXXXXXX	192.168.0.10
チャンネル	1CH
操作制限	カメラグループ設定による
映像取得間隔	0.2秒(5fps)
映像取得ユーザー	
映像取得パスワード	
映像取得モード	<input type="radio"/> 常時接続 <input checked="" type="radio"/> 臨時接続
機器種別/ 画像フォーマット	WJ-NT104/JPEG
プレ録画	<input checked="" type="radio"/> 許可 <input type="radio"/> 禁止

### ・タイトル

各カメラにタイトルを付けることができます。16文字までの文字列を入力できます。

### ・IPアドレス

XXX.XXX.XXX.XXXの形式でカメラのIPアドレスを入力します。「XXX」は0~255までの10進数で指定します。または、指定されたFQDN(ホスト名に続けてドメイン名まで省略せずにすべて記述したアドレス)を入力します。

カメラが80以外のHTTPポートを使用して画像を配信する場合は、IPアドレスまたはFQDNに続けて「コロン(:)ポート番号」を入力してください。

入力例: 192.168.0.50:85

### ・チャンネル

登録するカメラがネットワークインターフェースユニット(WJ-NT104)に接続されている場合、カメラが接続されているネットワークインターフェースユニットのチャンネル(1CH~4CH)を指定します。

ネットワーク端子を装備しているカメラ(WV-NP472、WV-NP400KT、WV-NS320、WV-NM100)を登録する場合は、1CHを選択します。

### ・操作制限

登録するカメラの画像を見ることができるユーザーを制限する場合、条件を選択します。

**制限なし:** 操作制限を行いません。すべてのユーザーが録画以外の操作を行うことができます。

**閲覧、プリセットのみ:** ライブ画像を見る、およびカメラのプリセット操作を許可します。

**カメラグループ設定による:** [認証設定]から「カメラグループ設定」をクリックして、グループにカメラを登録してください。そのグループのオペレーターはすべての操作を行うことができます(録画することもできます)。そのグループのモニターは、ライブ画像を見る、およびプリセット操作を行うことができます。それ以外のユーザーは何も操作できません。

注: 基本的に、カメラ画像の録画は管理者のみ行うことができます。「カメラグループ設定による」を選択した場合は、同じグループのオペレーターも録画できます。

### ・映像取得間隔

中継サーバーシステムがカメラサイトからカメラ画像を取得する間隔を選択します。初期値は1秒です。映像取得間隔と録画間隔(録画スケジュール設定ページ→61ページ、)以下から選択できます。

0.066秒(15fps)、0.1秒(10fps)、0.2秒(5fps)、0.5秒(2fps)、1秒(1fps)、2秒、3秒、5秒、10秒、30秒、60秒、120秒、180秒

注: ネットワークの状態によっては選択した間隔で映像を取得できないことがあります。以下の現象が頻発するときは、映像取得間隔を大きくしてください。

# カメラ設定

- 映像取得間隔に設定した時間内に映像を更新できない状態が頻繁に発生すると、映像が見づらくなることがあります。

- ユーザーが中継サーバーシステムにアクセスし、「映像取得間隔」で選択した時間から5秒経過しても映像を取得できなかった場合は、映像取得失敗を示す静止画像が表示されます。

## ・映像取得ユーザー

カメラまたはネットワークインターフェースユニットにアクセスするためにユーザー認証が必要な場合、カメラまたはネットワークインターフェースユニットに設定されているユーザー名を入力します。

## ・映像取得パスワード

カメラまたはネットワークインターフェースユニットにアクセスするためにユーザー認証が必要な場合、カメラまたはネットワークインターフェースユニットに設定されているパスワードを入力します。

**注:** WV-NM100またはWV-NS320を使用する場合、カメラの設定に合わせて映像取得ユーザーと映像取得パスワードを入力する必要があります。カメラによってはアクセスレベルがあります。映像取得ユーザー名と映像取得パスワードに入力したユーザー名とパスワードによっては、中継サーバーシステムからカメラを操作できない場合があります。詳しくは、お使いになるカメラの取扱説明書をお読みください。

映像取得ユーザー/映像取得パスワードは、中継サーバーシステムにアクセスするとき使用するユーザー認証用のユーザー名/パスワードではありません。

## ・映像取得モード

カメラまたはネットワークインターフェースユニットとの接続方法を選択します。

**常時接続:** 常にカメラまたはネットワークインターフェースユニットからの映像を取得し続けます。

**随時接続:** ユーザーがカメラを選択したとき、またはスケジュール録画に設定されている時刻、アラームが発生したなどのイベントが実行されたときのみカメラまたはネットワークインターフェースユニットに接続し、映像を取得します。

**注:** アラーム録画を行う場合、「随時接続」を選択すると、アラーム発生から接続が完了す

るまでの映像は録画できません。

## ・機器種別/画像フォーマット

中継サーバーシステムに登録するカメラの種別(品番)とカメラが配信する画像のフォーマットを選択します。

**WJ-NT104/JPEG:** ネットワークインターフェースユニットに接続されているカメラを登録するとき選択します。

**WV-NP472/JPEG:** WV-NP472またはWV-NP400KTを登録するとき選択します。

**WV-NS320/JPEG:** WV-NS320を登録するとき選択します。

**WV-NM100/JPEG:** JPEG画像を配信するWV-NM100を登録するとき選択します。

**WV-NM100/MPEG-4:** MPEG-4画像を配信するWV-NM100を登録するとき選択します。

## ・プレ録画 **タイプ1**

アラーム発生時、アラーム発生直前の映像を録画するとき、「プレ録画」を「許可」にします。録画時間は、アラーム録画設定ページで選択します。

**注:** プレ録画による録画時間は、カメラごとに設定することはできません。

## ・[設定更新...]

カメラの登録情報を更新します。クリックすると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージで、[OK]をクリックすると、このページで変更した内容すべてを中継サーバーシステムに送信し、カメラ登録情報を更新します。更新を中止するときは[キャンセル]をクリックしてください。

**注:** 設定更新を行わずに、他のページに移動すると、変更内容は中継サーバーシステムに反映されません。

## ・設定&次カメラ

カメラの登録情報を更新し、次の番号の個別カメラ設定ページを表示するときクリックします。

# カメラ設定

このボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージで、[OK]をクリックすると、このページで変更した内容すべてを中継サーバーシステムに送信し、カメラ登録情報を更新します。[キャンセル]をクリックすると更新を中止し、メッセージウィンドウを閉じます。

- **カメラ設定へ**

カメラ設定ページに戻ります。

# スケジュール

## カメラ休止スケジュール一覧ページ

設定メニューから[カメラ設定]→スケジュールタブをクリックします。このページで、カメラ休止スケジュールの登録状況を確認できます。

カメラ休止スケジュールとは、指定した時間にカメラの画像配信を停止する機能です。停止中は、カメラ画像の代わりに固定画像を配信します。スケジュールは20個まで設定できます。有効なスケジュールは黒色で、無効になっているスケジュールは赤色で表示します。

番号	開始日時	終了日時	カメラ番号	画像・優先度	コメント
1	-----	-----	-----	-----	-----
2	-----	-----	-----	-----	-----
3	-----	-----	-----	-----	-----
4	-----	-----	-----	-----	-----
5	-----	-----	-----	-----	-----
6	-----	-----	-----	-----	-----
7	-----	-----	-----	-----	-----
8	-----	-----	-----	-----	-----
9	-----	-----	-----	-----	-----
10	-----	-----	-----	-----	-----
11	-----	-----	-----	-----	-----
12	-----	-----	-----	-----	-----
13	-----	-----	-----	-----	-----
14	-----	-----	-----	-----	-----
15	-----	-----	-----	-----	-----
16	-----	-----	-----	-----	-----
17	-----	-----	-----	-----	-----
18	-----	-----	-----	-----	-----
19	-----	-----	-----	-----	-----
20	-----	-----	-----	-----	-----

※番号をクリックすると設定画面に入ります。  
※赤字は、現在スケジュールが無効になっている項目を表しています。

### ・番号

スケジュールの番号を表示します。クリックするとカメラ休止スケジュール設定ページを表示します。

### ・開始日時

スケジュールの開始日時(曜日 時刻)を表示します。

### ・終了日時

スケジュールの終了日時(曜日 時刻)を表示します。

### ・カメラ番号

スケジュールに従ってライブ配信を停止するカメラの番号を表示します。

### ・画像・優先度

優先度(1~4)を表示します。1が一番優先度が高く、順番に優先度が低くなります。同じカメラが複数のスケジュールに設定されている場合で、スケジュール時刻が重複しているとき、優先度に従って固定画像が配信されます。優先度も同じ場合、以下のように優先度が決まります。

・中継サーバーシステム運用中にスケジュールを設定したときは、後に設定したスケジュールが優先されます。

・中継サーバーシステムを起動した直後は、スケジュール番号が大きいスケジュールが優先されます。

### ・コメント

スケジュールに対するコメントが表示されます。

# スケジュール

## カメラ休止スケジュール設定ページ

カメラ休止スケジュール一覧ページからスケジュールを設定したいスケジュールの番号をクリックして表示します。このページで、カメラ休止スケジュールを設定または消去できます。

### ・スケジュール番号

スケジュールの番号を表示します。

### ・スケジュールの有効/無効

このページで設定したスケジュールを有効にするときは「有効」にチェックします。

### ・開始日時

スケジュールの開始日時(曜日 時刻)を選択します。以下から選択できます。

**曜日:** 月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日、月～金曜日、土・日曜日、毎日

**時:** 0～23、毎時

**分:** 0～55(5分単位)、毎分

**注:** 24時間休止したいときは、開始日時および終了日時に「毎時」「毎分」を選択してください。

### ・終了日時

スケジュールの終了日時(曜日 時刻)を選択します。以下から選択できます。

**曜日:** 月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日、月～金曜日、土・日曜日、毎日

**時:** 0～23、毎時

**分:** 0～55(5分単位)、毎分

**注:** 「開始日時」で「毎日」を選択したとき、「終了日時」も「毎日」を選択する必要があります。

### ・カメラ番号

スケジュールに従ってライブ配信を停止するカメラの番号を入力します。

複数のカメラを休止したいときは、コンマ(,)で区切って入力します。すべてのカメラを検索対象にするときは、アスタリスク(\*)を入力します。

### ・画像・優先度

優先度(1～4)を選択します。優先度に従って中継サーバーシステムが配信する画像が次ページの表のように決まります。優先度は、1が一番高く、順番に優先度が低くなります。同じカメラが複数のスケジュールに設定されている場合で、スケジュールが重複しているとき、一番高い優先度の静止画像が配信されます。

本ソフトウェアインストール時、次のディレクトリにサンプル画像ファイルがインストールされています。

```
/usr/local/s3/bin
```

# スケジュール

表 優先度とサンプル画像ファイル

ファイル名(JPEG/MPEG-4)	用途(優先度)	ページの内容(メッセージ)
blue1.jpg/blue1.mg4	優先度1用	メッセージ「現在ライブ配信は停止中ですが表示されます。このメッセージは、優先度1のカメラ休止スケジュールが動作し、画像の配信を停止しているときに表示します。
blue2.jpg/blue2.mg4	優先度2用	メッセージ「本日のサービスは終了致しました。」が表示されます。このメッセージは、優先度2のカメラ休止スケジュールが動作し、画像の配信を停止しているときに表示します。
blue3.jpg/blue3.mg4	優先度3用	メッセージ「現在メンテナンス中です。しばらくお待ちください。」が表示されます。このメッセージは、優先度3のカメラ休止スケジュールが動作し、画像の配信を停止しているときに表示します。
blue4.jpg/blue4.mg4	優先度4用	メッセージ「画像が取得できませんでした。」が表示されます。このメッセージは、優先度4のカメラ休止スケジュールが動作し、画像の配信を停止しているときに表示します。

注: JPEGファイルは、必要に応じて、同じ名前のファイルを用意し、差し替えて使用することができます。画像を差し替える場合、ディレクトリは変更しないでください。ただし、MPEG-4ファイル(拡張子: mg4)は差し替えることはできません。

- ファイルサイズ: 100kbyte以下にすること。
- 画像サイズ: 320ピクセル×240ピクセル(推奨)

## • コメント

スケジュールに対するコメント入力します。

## • [設定更新...]

カメラ休止スケジュールを更新します。クリックすると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージで、[OK]をクリックすると、このページで変更した内容すべてを中継サーバーシステムに送信し、カメラ休止情報を更新しま

す。更新を中止するときは[キャンセル]をクリックしてください。

注: 設定更新を行わずに、他のページに移動すると、変更内容は中継サーバーシステムに反映されません。

## • スケジュールの消去 [消去...]

[消去...]をクリックすると、確認メッセージが表示されます。スケジュールを削除するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。削除後、スケジュール設定ページに戻ります。

## • カメラ休止スケジュール一覧へ

カメラ休止スケジュール一覧ページに戻ります。

注: 以下の内容に注意してください

- 連続した時間で複数のスケジュールを設定する場合、処理の連続性は保証されません。スケジュールの間で、一時的にライブ画像が配信されることがあります。
- カメラ休止スケジュールの設定を変更すると、変更後のスケジュールが有効になるまで一時的にライブ画像が配信されることがあります。

# 録画設定 タイプ1

## 録画情報ページ

設定メニューから、[録画設定]をクリックして表示します。録画情報タブをクリックして表示することもできます。このページで、カメラごとに、ディスク領域の使用状況を確認できます。

カメラ番号	IPアドレス	チャンネル	タイトル	録画状況 (ASM)	ディスク容量	使用率	プレ録画時間 (秒)	特記事項
1	192.168.0.50	1 CH	Gate1	○ ○ ○	1000	■■■■■	-	-
2	192.168.0.51	1 CH	Gate2	○ ○ ○	100	■■■■■	-	-
3	192.168.0.52	2 CH	Gate3	○ ○ ○	-	-	-	-
4	192.168.0.53	1 CH	Gate4	○ ○ ○	-	-	-	-
5	-	-	-	○ ○ ○	-	-	-	-
6	-	-	-	○ ○ ○	-	-	-	-
7	-	-	-	○ ○ ○	-	-	-	-
8	-	-	-	○ ○ ○	-	-	-	-

※Aアラーム録画  
※Sスケジュール録画  
※Mマニュアル録画

次ページへ

Copyright © 2003 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.  
All rights reserved.

### ・カメラ番号

カメラ番号を表示します。番号をクリックすると、ディスク領域の割り当て/未割り当てによって以下のページが表示されます。

**ディスク領域が未割り当てのとき:** ディスク領域初期化設定ページが表示されます。

**ディスク領域が割り当て済みのとき:** ディスク領域設定ページが表示されます。

### ・IPアドレス

カメラのIPアドレスを表示します。

### ・チャンネル

カメラが接続されているネットワークインターフェースユニットの映像入力チャンネルを表示します。

### ・タイトル

カメラのタイトルを表示します。

### ・録画状況(ASM)

録画状況を表示します。

○(赤): アラーム録画の状態。録画中は●になります。

○(青): スケジュール録画の状態。録画中は●になります。

○(黒): マニュアル録画の状態。録画中は●になります。

### ・ディスク容量(MB)

録画データ用ディスク領域からカメラに割り当てられているディスク領域の容量(単位MB)を表示します(1MBは1024 KByteです)。

### ・使用率

録画データ用ディスク領域からカメラに割り当てられているディスク領域の使用率を棒グラフで確認できます。棒グラフの色で、ディスク領域を使用している録画画像の種類を確認できます。

灰色: プレ録画で使用している使用率

赤色: 中継サーバーシステムが保護しているディスク領域の使用率(解放すると、黒色になります。)

青色: 中継サーバーシステムが保護していない録画データの使用率

黒色: 未使用のディスク領域

### ・プレ録画時間(秒)

プレアラーム時間が表示されます。この時間は、次のすべての設定を行ったカメラに対してのみ表示されます。

・個別カメラ設定ページの「プレ録画」を「許可」に設定したカメラ

# 録画設定 タイプ1

・アラーム録画設定ページで、「アラーム録画」を「する」に設定し、「プレ録画」の「録画時間」に録画時間を設定したとき

## ・特記事項

録画データ用ディスク領域に対して、以下の操作を行っているとき、その状態表示します。

・初期化    ・追加    ・削除    ・保護領域解放中

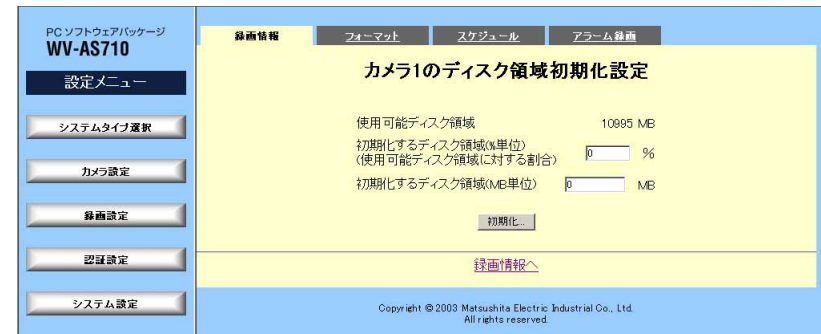
## ・次ページへ/前ページへ

**次ページへ:** 複数のページがある場合に表示されます。クリックすると、次のページが表示されます。

**前ページへ:** 前ページがある場合に表示されます。クリックすると、1つ前のページに戻ります。

## ディスク領域初期化設定ページ

録画情報設定ページで、ディスク領域が割り当てられていないカメラの番号をクリックすると表示されます。このページで、選択したカメラに録画データ用ディスク領域からディスク領域を割り当てることができます。



### ・使用可能ディスク領域

録画データ用ディスク領域の空き容量を表示します。

### ・初期化するディスク領域(%)

録画データ用ディスク領域から、選択したカメラに割り当てるディスク領域の容量を「使用可能ディスク領域」に対する割合(%)で入力します。入力後、他の項目に移動すると、「初期化するディスク領域 (MB単位)」が自動的に計算されて表示されます。

### ・初期化するディスク領域(MB単位)

録画データ用ディスク領域から、選択したカメラに割り当てるディスク領域の容量を入力します(1MBは1024 KByteです)。入力後、他の項目に移動すると、「初期化するディスク領域(%単位)」が自動的に計算されて表示されます。

注: 「使用可能ディスク領域」以上の値は入力できません。

### ・[初期化...]

「初期化するディスク領域」に表示されている容量を初期化し、選択したカメラに割り当てます。[初期化]をクリックすると、確認メッセージが表示されません。初期化するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。



# 録画設定 タイプ1

## ディスク領域設定ページ

録画情報設定ページで、ディスク領域が割り当てられているカメラの番号をクリックすると表示されます。このページは、選択したカメラに割り当てられているディスク領域の管理メニューです。



### ・ディスク領域の追加

選択したカメラのディスク領域追加ページを表示します。ディスク領域を増やすことができます。

### ・ディスク領域の削除

選択したカメラのディスク領域削除ページを表示します。割り当て済みのディスク領域を削除します。削除すると、録画データ用ディスク領域の空き容量が増えます。

### ・保護領域の解放

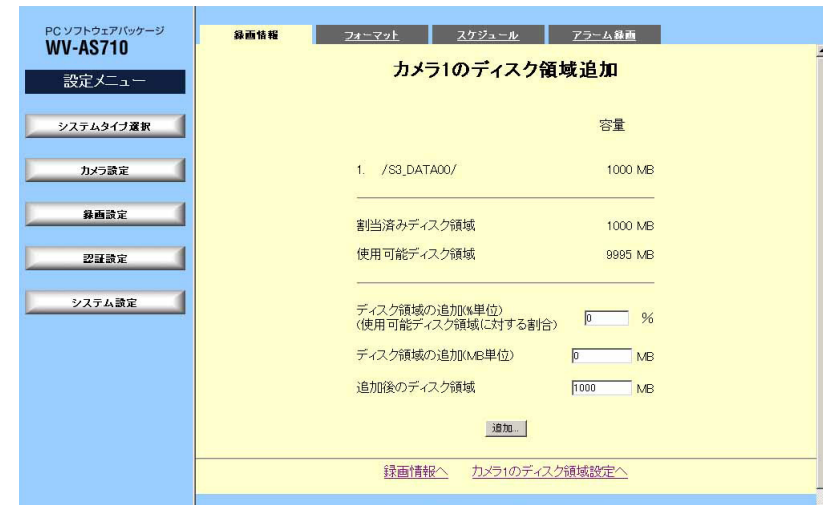
選択したカメラの「保護領域の解放」ページを表示します。保護領域を解放し、空き領域にすることができます。

### ・録画情報へ

録画情報ページに戻ります。

## ディスク領域追加ページ

ディスク領域設定ページから「ディスク領域の追加」をクリックして表示します。このページで、選択したカメラに、ディスク領域を追加し、録画できる時間を増やすことができます。



### ・上段

カメラが使用している録画データ用ディスク領域の名前と、割り当て済みの容量を表示します。

### ・中段

**割当て済みディスク領域:** 選択したカメラに割り当てられているディスク領域の容量を表示します(1MBは1024 Kbyteです)。

**使用可能ディスク領域:** 録画データ用ディスク領域の空き容量を表示します。この値まで、追加することができます(1MBは1024 KByteです)。

### ・下段

**ディスク領域の追加(%単位):** 追加するディスク領域の容量を、「使用可能ディスク領域」に対する割合(%)で入力します。入力後、他の項目に移動すると、「ディスク領域の追加(MB単位)」と「追加後のディスク領域」が自動的に計算

# 録画設定 タイプ1

されて表示されます。

**ディスク領域の追加(MB単位)**: 追加するディスク領域の容量を入力します(1MBは1024 KByteです)。入力後、他の項目に移動すると、「ディスク領域の追加(%単位)」と「追加後のディスク領域」が自動的に計算されて表示されます。

注: 「使用可能ディスク領域」以上の値は入力できません。

## • 追加後のディスク領域

カメラの画像を録画するために使用するディスク領域の容量を入力します(1MBは1024 KByteです)。入力後、他の項目に移動すると、「ディスク領域の追加(%単位)」と「ディスク領域の追加(MB単位)」が自動的に計算されて表示されます。

注: 「使用可能ディスク領域」以上の値は入力できません。

## • [追加...]

選択したカメラのディスク領域を「追加後のディスク領域」に表示されている容量に変更します。

## • 録画情報へ

録画情報ページに戻ります。

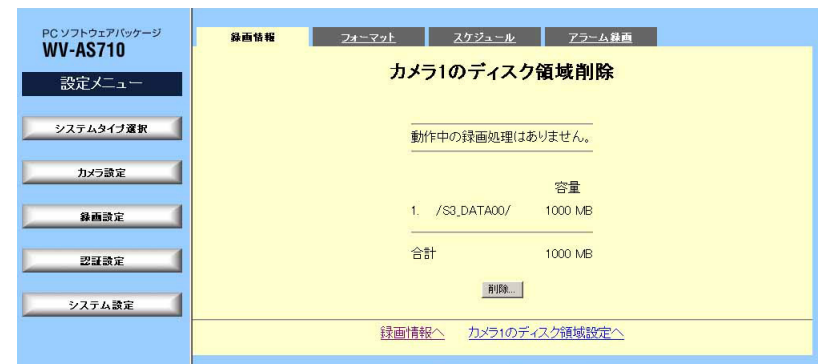
## • カメラnのディスク領域設定へ(nは選択したカメラの番号)

選択したカメラのディスク領域設定ページに戻ります。

## ディスク領域削除ページ

ディスク領域設定ページから「ディスク領域の削除」をクリックして表示します。このページで、録画データ用ディスク領域から、選択したカメラに割り当てられている領域を削除することができます。

注: ディスク領域を削除するときは、削除するディスク領域が含まれている録画データ用ディスク領域を使用しているカメラの録画をすべて停止してください。使用中の録画データ用ディスク領域は削除できません。



## • 上段

カメラに割り当てられているディスク領域が含まれている録画データ用ディスク領域の利用状況を表示します。「動作中の録画処理はありません。」と表示されているときにのみ、カメラに割り当てられているディスク領域を削除できます。

## • 中段

カメラに割り当てられているディスク領域が含まれている録画データ用ディスク領域の名前と、カメラに割り当てられているディスク領域の容量を表示します。

## • 下段

カメラに割り当てられているディスク領域の合計を表示します。

## • [削除...]

録画データ用ディスク領域から、選択したカメラに割り当てられているディス

# 録画設定 タイプ1

ク領域を削除します。[削除..]をクリックすると、確認メッセージが表示されます。削除するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。

- **録画情報へ**

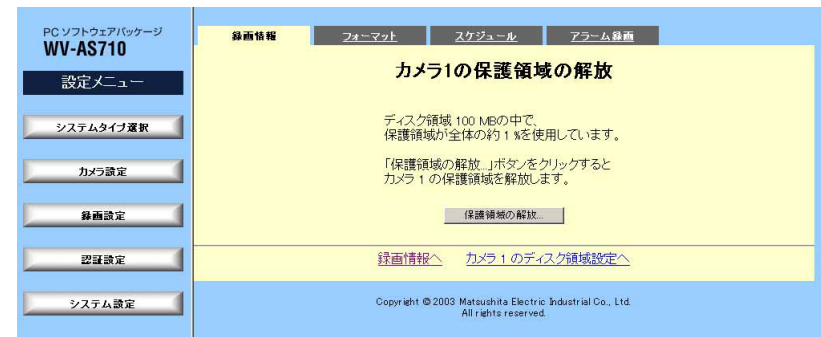
録画情報ページに戻ります。

- **カメラnのディスク領域設定へ(nは選択したカメラの番号)**

選択したカメラのディスク領域設定ページに戻ります。

## 保護領域の解放ページ

ディスク領域設定ページから「保護領域の解放」をクリックして表示します。保護領域を解放すると、ディスク領域の空き容量が増えます。このページは、アラームによる録画画像またはスケジュール録画の録画画像を保護(「録画種別」で「保護」を選択)している場合にのみ操作できます。保護していないとき、このページには、「保護領域がありません。」と表示されます。



注: 保護領域を解放すると、保護されていた画像はすべて削除されますので注意してください。

- **[保護領域の解放...]**

選択したカメラに割り当てられているディスク領域から保護領域を解放します。[保護領域の解放...]をクリックすると、確認メッセージが表示されます。解放するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。

- **録画情報**

ディスク領域設定ページに戻ります。

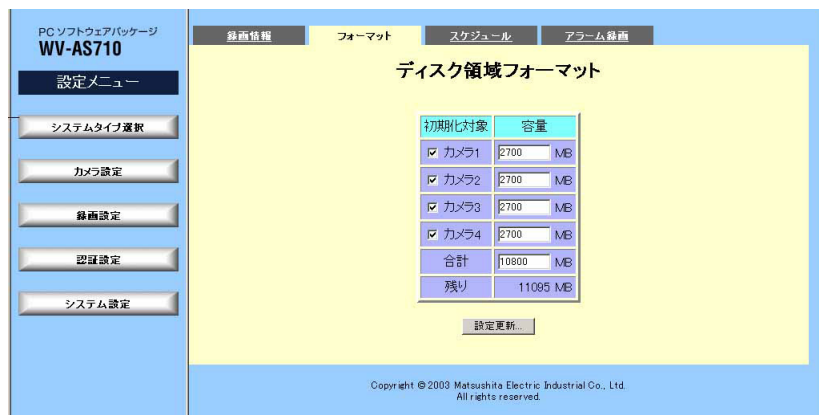
- **カメラnのディスク領域設定へ(nは選択したカメラの番号)**

選択したカメラのディスク領域設定ページに戻ります。

## フォーマット

設定メニューから、[録画設定]-フォーマットタブをクリックして表示します。

このページで、録画対象のカメラで、録画データ用ディスク領域からディスク領域が割り当てられていないカメラに対して、ディスク領域を均等に割り当てることができます。



### ・初期化対象

録画対象のカメラで、ディスク領域が割り当てられていないカメラが表示されます。ディスク領域を割り当てるカメラをチェックします。

### ・容量

このページを表示した直後は、「初期化対象」に表示されているカメラの台数を基に、「残り」に表示された容量を均等に割り当てた値が自動的に表示されます。

容量は直接入力して変更することができます。この場合、他の入力項目に移動したとき、残りの容量が自動的に再計算されます。

### ・残り

中継サーバーシステムが認識した録画データ用ディスク領域の空き容量が表示されます。

### ・[設定更新...]

ディスク領域のフォーマットを実行します。クリックすると、確認メッセージが表示されます。フォーマットを実行するときは、確認メッセージで、[OK]をクリックします。フォーマットを中止するときは[キャンセル]をクリックしてください。

**注:** 設定更新を行わずに、他のページに移動すると、変更内容は中継サーバーシステムに反映されません。

## スケジュール

### 録画スケジュール一覧ページ

設定メニューから[録画設定]→スケジュールタブをクリックして表示します。

このページで、設定されている録画スケジュールを確認できます。

録画スケジュールとは、指定した時間に、カメラの画像を自動的に録画する機能です。スケジュールは20個まで設定できます。有効なスケジュールは黒色で、無効になっているスケジュールは赤色で表示します。

番号	開始日時	終了日時	カメラ番号	録画種別	録画間隔	優先度	コメント
1	常時	常時	1	保護	1秒	3	-
2	---	---	-	-	---	-	-
3	---	---	-	-	---	-	-
4	---	---	-	-	---	-	-
5	---	---	-	-	---	-	-
6	---	---	-	-	---	-	-
7	---	---	-	-	---	-	-
8	---	---	-	-	---	-	-
9	---	---	-	-	---	-	-
10	---	---	-	-	---	-	-
11	---	---	-	-	---	-	-
12	---	---	-	-	---	-	-
13	---	---	-	-	---	-	-
14	---	---	-	-	---	-	-
15	---	---	-	-	---	-	-
16	---	---	-	-	---	-	-
17	---	---	-	-	---	-	-
18	---	---	-	-	---	-	-
19	---	---	-	-	---	-	-
20	---	---	-	-	---	-	-

※番号をクリックすると設定画面に入ります。  
※赤字は、現在スケジュールが無効になっている項目を表しています。

#### ・番号

スケジュールの番号を表示します。クリックすると録画スケジュール設定ページを表示できます。

#### ・開始日時

スケジュールの開始日時(曜日、時刻)を表示します。録画スケジュール設定ページで、開始日時を「毎日」「毎時」「毎分」に設定すると、「常時」と表示されます。

#### ・終了日時

スケジュールの終了日時(曜日、時刻)を表示します。録画スケジュール設定ページで、終了日時を「毎日」「毎時」「毎分」に設定すると、「常時」と表示されます。

#### ・カメラ番号

スケジュールに従って録画するカメラの番号を表示します。

#### ・録画種別

スケジュールに従って録画したカメラの画像が保護されているかどうか表示します。

**保護:** 録画画像を保護します(録画された画像データは保護領域として管理されます)。

**通常:** 録画画像は保護されていません(ディスク領域に空きがなくなると、通常領域に録画された画像は、古い録画画像から上書きされます)。

#### ・録画間隔

録画間隔を表示します。画像フォーマットがJPEGの場合、表示されている録画間隔と実際の録画間隔とは異なる場合があります。→61ページ

画像フォーマットがMPEG-4の場合、録画間隔はカメラの配信速度に依存します。

#### ・優先度

優先度(1~4)を表示します。

#### ・コメント

スケジュールに対するコメントが表示されます。

# 録画設定 タイプ1

## 録画スケジュール設定ページ

録画スケジュール一覧ページからスケジュールを設定したいスケジュールの番号をクリックして表示します。このページで、録画スケジュールを設定または消去できます。

録画スケジュール設定

スケジュール番号	1
スケジュールの有効/無効	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
開始日時	毎日 時 分
終了日時	毎日 時 分
カメラ番号	1
録画種別	<input checked="" type="radio"/> 保護 <input type="radio"/> 通常
録画間隔	1 秒(1 fps)
優先度	3
コメント	

設定更新

※設定更新ボタンをクリックしないと設定は更新されません。

スケジュールの消去

消去

[録画スケジュール一覧へ](#)

### ・スケジュール番号

スケジュールの番号を表示します。

### ・スケジュールの有効/無効

このページで設定したスケジュールを有効にするときは「有効」にチェックします。

### ・開始日時

スケジュールの開始日時(曜日 時刻)を選択します。以下から選択できます。

**曜日:** 月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日、月～金曜日、土・日曜日、毎日

**時:** 0～23、毎時 **分:** 0～55(5分単位)、毎分

**注:** 24時間録画したいときは、開始日時および終了日時に「毎時」「毎分」を選択してください。

### ・終了日時

スケジュールの終了日時(曜日 時刻)を選択します。以下から選択できます。

**曜日:** 月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日、月～金曜日、土・日曜日、毎日

**時:** 0～23、毎時 **分:** 0～55(5分単位)、毎分

**注:** 「開始日時」で「毎日」を選択したとき、「終了日時」も「毎日」を選択する必要があります。

### ・カメラ番号

スケジュールに従って録画するカメラの番号を入力します。カメラ設定ページでカメラが登録されているカメラ番号を入力してください。

複数のカメラを休止したいときは、コンマ(,)で区切って入力します。すべてのカメラを検索対象にするときは、アスタリスク(\*)を入力します。

カメラ設定ページに未登録のカメラ番号を入力することもできます。ただし、入力したカメラ番号にカメラが登録されるまでスケジュールによる録画は行われません。

### ・録画種別

スケジュールに従って録画したカメラの画像を保護するかどうかを選択します。

**保護:** 録画画像を保護します(録画された画像データは保護領域として管理されます)。

**通常:** 録画画像を保護しません。この場合、ディスク領域が満杯になると、古い録画画像から上書きされます。

### ・録画間隔

録画間隔を選択します。録画間隔は、カメラが配信する画像フォーマットがJPEGの場合のみ有効です。以下から選択できます。

0.066秒(15fps)、0.1秒(10fps)、0.2秒(5fps)、0.5秒(2fps)、1秒、

# 録画設定 タイプ1

(1fps)、2秒、3秒、5秒、10秒、30秒、60秒、120秒、180秒

画像フォーマットがMPEG-4の場合、録画間隔はカメラの配信速度に依存します。

注: 複数の録画が同時に実行されている、または録画間隔と映像取得間隔(→47ページ)の関係によっては、設定と異なる録画間隔で録画される場合があります(右側の「録画間隔について」を参照)。

## ・優先度

優先度(1~4)を選択します。1が一番優先度が高く、順番に優先度が低くなります。同じカメラが複数のスケジュールに設定されている場合は以下のように優先度が決まります。

- ・マニュアル録画またはアラーム録画を同時に行う場合は、保護領域への録画が優先されます(右側の「録画間隔について」を参照)。
- ・中継サーバーシステム運用中にスケジュールを設定したときは、後に設定したスケジュールが優先されます。
- ・中継サーバーシステムを起動した直後は、スケジュール番号が大きいスケジュールが優先されます。

## ・コメント

スケジュールに対するコメント入力します。

## ・[設定更新...]

録画スケジュールを更新します。クリックすると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージで、[OK]をクリックすると、このページで変更した内容すべてを中継サーバーシステムに送信し、録画情報を更新します。更新を中止するときは[キャンセル]をクリックしてください。

注: 設定更新を行わずに、他のページに移動すると、変更内容は中継サーバーシステムに反映されません。

## ・スケジュールの消去 [消去...]

[消去...]をクリックすると、確認メッセージが表示されます。スケジュールを削除するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。削除後、スケジュール設定ページに戻ります。

## ・録画スケジュール一覧へ

録画スケジュール一覧ページに戻ります。

## 録画間隔について

### ・優先度、録画種別との関係

複数の録画が同時に行われると、中継サーバーシステムは、(1)~(3)の順番で録画間隔を決定し、録画します。

#### (1) 録画種別が異なる場合

優先度に関係なく、保護領域(録画種別: 保護)に録画する録画間隔で録画します。例えば、優先度2のスケジュール録画(録画種別: 通常)で録画中に、マニュアル録画(保護領域、優先度4)を行うと、マニュアル録画の録画間隔で録画します。

#### (2) 録画種別が同じで、優先度が異なる場合

優先度の高い録画の録画間隔で録画します。

#### (3) 録画種別と優先度が同じ場合

後に開始した録画の録画間隔で録画します(後優先)。

### ・映像取得間隔(→47ページ)との関係

基本的に中継サーバーシステムは、カメラの画像を取得したときに録画します。このため、以下の場合、映像取得間隔で録画することがあります。

**録画間隔が映像取得間隔以上の場合:** 録画間隔を映像取得間隔の整数倍の時間を選択した場合、選択した録画間隔で録画します。ただし、整数倍ではない時間を選択すると、映像取得間隔の整数倍で録画します。

**録画間隔が映像取得間隔より短い場合:** この場合、映像取得間隔で選択した間隔で録画します。

## アラーム録画設定ページ

設定メニューから[録画設定]→アラーム録画タブをクリックして表示します。

このページで、アラーム発生時の録画動作を設定します。



### ・録画

カメラサイトでアラームが発生したとき、アラーム発生時のカメラ画像をディスク領域に録画するかどうかを選択します。カメラの画像は、アラームが発生したカメラのディスク領域に録画されます。

注: 録画する場合は、以下の内容に注意してください。

- ・アラーム録画の優先度は「3」固定です。
- ・アラームが発生したカメラのディスク領域が確保されていない、またはディスク領域に空きがないときは録画できません。
- ・アラーム発生時の画像を録画するためには、カメラまたはネットワークインターフェースユニットの設定で、「独自アラーム」(機種によっては「独自アラーム通知」)が有効に設定されていて、通知先として中継サーバーシステムのIPアドレスが設定されている必要があります。
- ・独自アラームを通知する機器と中継サーバーシステムは、IP Reachableの場合のみTCPアラームを通知できます。
- ・ネットワークインターフェースユニットに、接続されたカメラの内部アラームを受信して録画することはできません。
- ・カメラサイトと中継サーバーシステムの間にルーターなどを設置し、中継サーバー

システム側(WAN/LAN側)のIPアドレスをNATなどのアドレス変換機能で1つのIPアドレスを複数台のカメラで共用すると、中継サーバーシステムはどのカメラでアラームが発生したかを特定することができなくなります。この場合、一番小さいカメラ番号のカメラでアラームが発生したもとして扱います。

### ・プレ録画 録画時間/録画間隔

アラーム発生直前のカメラの画像を何秒前から録画するか選択します。画像フォーマットがJPEGの場合、「録画間隔」に設定した間隔で画像を録画します。画像フォーマットがMPEG-4の場合、録画間隔はカメラの配信速度に依存します。以下から選択できます。

**録画時間:** なし、2秒、3秒、5秒、10秒、20秒、30秒、60秒、90秒、120秒、180秒

**録画間隔:** 0.066秒(15fps)、0.1秒(10fps)、0.2秒(5fps)、0.5秒(2fps)、1秒(1fps)、2秒、3秒、5秒、10秒、30秒、60秒、120秒、180秒

注: 複数の録画が同時に実行されている、または録画間隔と映像取得間隔(→47ページ)の関係によっては、設定と異なる録画間隔で録画される場合があります(→61ページ)。

### ・通常録画 録画時間/録画間隔

アラーム発生後、何秒録画するか選択します。画像フォーマットがJPEGの場合、「録画間隔」に設定した間隔で画像を録画します。画像フォーマットがMPEG-4の場合、録画間隔はカメラの配信速度に依存します。以下から選択できます。

**録画時間:** 1枚のみ、2秒、3秒、5秒、10秒、20秒、30秒、60秒、90秒、120秒、180秒

**録画間隔:** 0.066秒(15fps)、0.1秒(10fps)、0.2秒(5fps)、0.5秒(2fps)、1秒(1fps)、2秒、3秒、5秒、10秒、30秒、60秒、120秒、180秒

注: 複数の録画が同時に実行されている、または録画間隔と映像取得間隔(→47ページ)の関係によっては、設定と異なる録画間隔で録画される場合があります(→61ページ)。

### ・録画種別

アラーム発生時の録画画像を保護するかどうか選択します。

**保護:** 録画画像を保護します(録画された画像データは保護領域として管理され



# 録画設定 タイプ1

ます)。

**通常:** 録画画像を保護しません。この場合、ディスク領域が満杯になると、古い録画画像から上書きされます。

## • [設定更新...]

クリックすると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージが表示されます。更新するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。

**注:** 設定更新を行わずに、他のページに移動すると、変更内容は中継サーバーシステムに反映されません。

# 認証設定

## 認証方法について

中継サーバーシステムは、ユーザー名とパスワードで認証を行います。

ユーザーには、管理者、オペレーター、モニターの3種類があります。また、ユーザーはGroup1～Group20、adminのいずれかのグループに登録されます。「admin」グループに登録されたユーザーが管理者となります。

各ユーザーが操作できる機能は、ユーザーの種類(ユーザータイプ)と所属するグループ、カメラの操作制限の設定内容によって下表のように異なります。

## グループ

グループには、一般ユーザーグループと管理者のグループがあります。ユーザーは、どちらかのグループに所属します。

### ・一般ユーザー用のグループ(「Group1」～「Group20」)

一般ユーザー用のグループには、「Group1」～「Group20」があります。

カメラの操作制限を「カメラグループ設定による」に設定すると、同じグループに所属するユーザーからのみカメラにアクセスできるように制限することができます。操作できる機能は、ユーザータイプによって異なります。

### カメラの「操作制限」が「操作制限なし」の場合

ユーザータイプ	ライブ画像の表示	プリセット操作	プリセット以外のカメラ操作	検索・再生	録画
管理者	○	○	○	○	○
オペレーター	○	○	○	○	×
モニター	○	○	○	○	×

### カメラの「操作制限」が「閲覧、プリセットのみ」の場合

ユーザータイプ	ライブ画像の表示	プリセット操作	プリセット以外のカメラ操作	検索・再生	録画
管理者	○	○	○	○	○
オペレーター	○	○	×	×	×
モニター	○	○	×	×	×

### カメラの「操作制限」が「カメラグループ設定による」で、カメラとユーザーが同一グループの場合

ユーザータイプ	ライブ画像の表示	プリセット操作	プリセット以外のカメラ操作	検索・再生	録画
管理者	○	○	○	○	○
オペレーター	○	○	○	○	○
モニター	○	○	×	×	×

### カメラの「操作制限」が「カメラグループ設定による」で、カメラとユーザーのグループが異なる場合

ユーザータイプ	ライブ画像の表示	プリセット操作	プリセット以外のカメラ操作	検索・再生	録画
管理者	○	○	○	○	○
オペレーター	×	×	×	×	×
モニター	×	×	×	×	×

# 認証設定

同じグループに所属するユーザーでも、操作できるカメラの機能は、ユーザータイプで異なります。カメラは複数のグループに所属させることができます。

**注:** 一般ユーザーグループに属するユーザー名とパスワードで、管理者用ページにアクセスすることはできません。

## ・管理者グループ

中継サーバーシステムの管理者のためのグループです。

管理者グループに所属しているユーザーだけが管理者用ページを表示できます。必ず、最低1人は管理者グループに登録してください。管理者グループに登録されたユーザーが1人もいないと管理者用ページにアクセスできなくなり、中継サーバーシステムを管理できなくなります。

管理者グループのユーザーは全カメラの操作が可能です。管理者グループに所属するユーザーは、すべてのカメラの操作と録画・再生、中継サーバーシステムの管理ができます(管理者用ページにアクセス可能)。

## ・制約事項

グループの制約事項を以下に示します。

- ・1人のユーザーが複数のグループに属することはできません。1人のユーザーが複数のグループのカメラを操作したいときは、グループごとにユーザー名を変えて登録する必要があります。
- ・カメラにグループを割り当てるには、カメラ設定ページの「操作制限」を「カメラグループ設定による」にししてください。

## ユーザー

ユーザーは、20個あるグループのいずれか1つのグループに所属し、カメラは複数のグループに所属させることができます。ユーザーは、同じグループに属するカメラにアクセスすることができます。

ユーザーが所属するグループとユーザータイプで、選択できるカメラと操作できる機能が決まります。ユーザータイプには、「オペレーター」と「モニター」の2つがあります。

## ・一般ユーザーグループにユーザーを登録した場合

同じグループに所属するカメラにアクセスして、ライブ画像を見たり、操作したりできます(カメラ設定ページの「操作制限」で「制限なし」を選択したカメラは、すべてのユーザーがカメラにアクセスしてライブ画像を見たり、プリセット操作を行うことができます)。

**注:** 不正アクセスを防止したいときは、すべてのカメラに、カメラ設定ページの「操作制限」を「閲覧・プリセットのみ」または「カメラグループの設定による」に設定してください。

## ・管理者グループにユーザーを登録した場合

中継サーバーシステムの管理者として、本システムを管理することができます。また、ユーザータイプには依存せず、すべてのカメラの選択および操作を行うことができます。

## ・ユーザータイプについて

ユーザータイプには、以下の2種類があります。

**オペレーター:** このタイプのユーザーは同じグループに所属するカメラに対して、以下の操作を行うことができます。

- ・カメラの画像を見る
- ・カメラを操作する
- ・カメラの画像を録画する
- ・中継サーバーシステムに録画されている画像を検索して再生する

**モニター:** このタイプのユーザーは、同じグループのカメラの画像を見ることができます。

## ユーザー認証について

ユーザーは、使用を許可されたカメラまたは機能のみ操作できます。

許可されていないカメラの選択、または許可されていない操作を行うと、認証画面が表示されます。

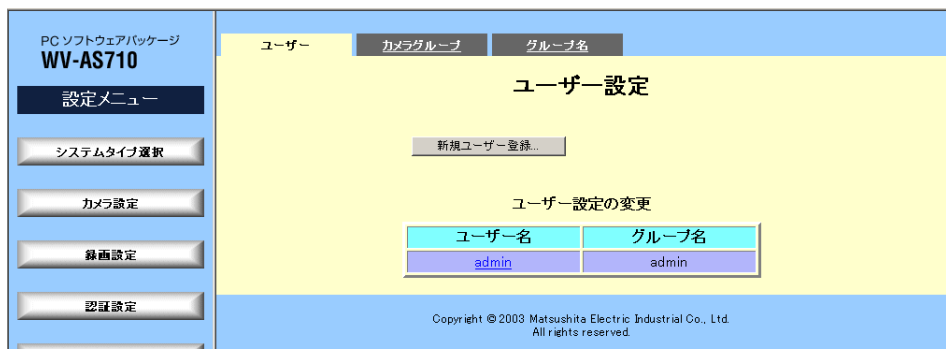
操作をキャンセルするか、操作を許可されているユーザー名とパスワードで認証し直してください。

# 認証設定

## ユーザー設定ページ

設定メニューから[認証設定]をクリックして表示します。中継サーバーシステムに登録されているユーザーの一覧を表示します。このページで、新規ユーザーの追加、ユーザーの設定情報を変更できます。インストール直後は、管理者としてユーザー名: admin、グループ名: admin(管理者グループ)が登録されています。

**注:** 管理者グループに所属するユーザーを1人以上必ず登録してください(登録しないと、設定変更ができなくなります)。あらかじめ登録されている「admin」ユーザーのパスワードは、インストール時に入力したパスワードです。



- [新規ユーザー登録...]

新規ユーザー登録ページを表示します。

- ユーザー名

中継サーバーシステムに登録されているユーザー名の一覧を表示します。クリックするとユーザー登録変更ページを表示できます。

- グループ名

ユーザーが所属しているグループ名を表示します。

# 認証設定

## 新規ユーザー登録ページ

ユーザー設定ページから[新規ユーザー登録...]をクリックして表示します。

このページで、新しいユーザーを登録できます。

### ・ユーザー名

ユーザー名を半角英数字32文字以下で入力します。既に登録されているユーザーと同じ名前前は使用できません。

注: 登録後、ユーザー名は変更できません。間違えて登録した場合は、ユーザー名削除してから再度登録してください。ユーザー名は、ユーザー登録変更ページで削除できます。

### ・新パスワード

パスワードを入力します。半角英数字32文字以下で設定してください。

### ・新パスワード確認入力

パスワードの確認のため、パスワードを再度入力します。

### ・グループ

ユーザーが所属するグループを選択します。インストール時は、「Group1」～「Group20」と「admin」が登録されています。

**admin:** 管理者グループです。このグループに所属するユーザーは、すべてのカメラを閲覧、操作が可能です。管理者グループ以外を選択した場合、ユー

ザータイプで操作内容を設定します。

**Group1～20:** 一般ユーザーグループです。ユーザータイプで選択した操作を行うことができます。これらのグループに所属するユーザーは、管理者用ページにアクセスできません。

注: グループ名は、グループ名設定ページで変更できます。

### ・ユーザータイプ

ユーザータイプを「オペレーター」または「モニター」から選択します。操作できる機能は、「認証方法について」をお読みください(→64ページ)。「グループ」で「admin」を選択した場合、「ユーザータイプ」の設定は無視されます。

### ・[登録...]

クリックすると、確認メッセージが表示されます。登録するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。

注: 登録しないで他のページに移動すると、変更内容は中継サーバーシステムに反映されません。

### ・ユーザー設定へ

ユーザー設定ページに戻ります。

# 認証設定

## ユーザー登録変更ページ

ユーザー設定ページからユーザー名をクリックして表示します。登録されているユーザーのパスワードやグループなどのユーザー登録情報を変更するためのページです。

### ・ユーザー名

ユーザー名を表示します。名前は変更できません。

### ・新パスワード

パスワードを設定します。半角英数字32文字以下で設定してください。パスワード保護のため、入力したパスワードは表示されません。

### ・新パスワード確認入力

パスワードの確認のため、パスワードを再度入力します。

### ・グループ

ユーザーが所属するグループを選択します。インストール時は、「Group1」～「Group20」と「admin」が登録されています。

**admin:** 管理者グループです。このグループに所属するユーザーは、すべての

カメラを閲覧、操作が可能です。管理者グループ以外を選択した場合、ユーザータイプで操作内容を設定します。

**Group1～20:** 一般ユーザーグループです。ユーザータイプで選択した操作を行うことができます。これらのグループに所属するユーザーは、管理者用ページにアクセスできません。

**注:** グループ名は、グループ名設定ページで変更できます。

### ・ユーザータイプ

ユーザータイプを「オペレーター」または「モニター」から選択します。操作できる機能は、「認証方法について」をお読みください(→64ページ)。「グループ」で「admin」を選択した場合、「ユーザータイプ」の設定は無視されます。

### ・[設定更新...]

クリックすると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージが表示されます。更新するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。

**注:** 設定更新を行わずに、他のページに移動すると、変更内容は中継サーバーシステムに反映されません。

### ・[削除...]

クリックすると、確認メッセージが表示されます。削除するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。

### ・ユーザー設定へ

ユーザー設定ページに戻ります。

# 認証設定

## カメラグループ設定ページ

設定メニューから[認証設定]→カメラグループタブをクリックして表示します。

このページで、カメラにグループを割り当てます。

注: カメラグループは、カメラ設定ページまたは個別カメラ設定ページの「操作制限」を「カメラグループ設定による」に設定したカメラにだけ設定できます(チェックボックスが表示されます)。

Group1							
カメラ							
1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>
9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	11 <input type="checkbox"/>	12 <input type="checkbox"/>	13 <input type="checkbox"/>	14 <input type="checkbox"/>	15 <input type="checkbox"/>	16 <input type="checkbox"/>
17 <input type="checkbox"/>	18 <input type="checkbox"/>	19 <input type="checkbox"/>	20 <input type="checkbox"/>	21 <input type="checkbox"/>	22 <input type="checkbox"/>	23 <input type="checkbox"/>	24 <input type="checkbox"/>
25 <input type="checkbox"/>	26 <input type="checkbox"/>	27 <input type="checkbox"/>	28 <input type="checkbox"/>	29 <input type="checkbox"/>	30 <input type="checkbox"/>	31 <input type="checkbox"/>	32 <input type="checkbox"/>
33 <input type="checkbox"/>	34 <input type="checkbox"/>	35 <input type="checkbox"/>	36 <input type="checkbox"/>	37 <input type="checkbox"/>	38 <input type="checkbox"/>	39 <input type="checkbox"/>	40 <input type="checkbox"/>
41 <input type="checkbox"/>	42 <input type="checkbox"/>	43 <input type="checkbox"/>	44 <input type="checkbox"/>	45 <input type="checkbox"/>	46 <input type="checkbox"/>	47 <input type="checkbox"/>	48 <input type="checkbox"/>
49 <input type="checkbox"/>	50 <input type="checkbox"/>	51 <input type="checkbox"/>	52 <input type="checkbox"/>	53 <input type="checkbox"/>	54 <input type="checkbox"/>	55 <input type="checkbox"/>	56 <input type="checkbox"/>
57 <input type="checkbox"/>	58 <input type="checkbox"/>	59 <input type="checkbox"/>	60 <input type="checkbox"/>	61 <input type="checkbox"/>	62 <input type="checkbox"/>	63 <input type="checkbox"/>	64 <input type="checkbox"/>

### ・[設定更新...]

クリックすると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージが表示されます。更新するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。

注: 設定更新を行わずに、他のページに移動すると、変更内容は中継サーバーシステムに反映されません。

### ・カメラ1～64/1～128

チェックボックスがあるカメラに、グループを割り当てます。カメラの数はシステムタイプによって異なります。

### ・次ページへ/前ページへ

次ページへ: 複数のページがある場合に表示されます。クリックすると、次のグループが表示されます。

前ページへ: 前ページがある場合に表示されます。クリックすると、1つ前のグループに戻ります。

# 認証設定

## グループ名設定ページ

設定メニューから[認証設定]→グループ名タブをクリックして表示します。このページでグループ名を変更できます。グループは管理者用グループを除いて20個まで使用できます。

注: グループの追加および削除はできません。

番号	グループ名	新グループ名
1	Group1	<input type="text" value="Group1"/>
2	Group2	<input type="text" value="Group2"/>
3	Group3	<input type="text" value="Group3"/>
4	Group4	<input type="text" value="Group4"/>
...	...	...
18	Group18	<input type="text" value="Group18"/>
19	Group19	<input type="text" value="Group19"/>
20	Group20	<input type="text" value="Group20"/>

管理者    admin   

設定更新...

※設定更新ボタンをクリックしないと設定は更新されません。

### ・[設定更新...]

クリックすると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージが表示されます。更新するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。

注: 設定更新を行わずに、他のページに移動すると、変更内容は中継サーバーシステムに反映されません。

### ・番号

グループの番号です。1～20までと管理者があります。

### ・グループ名

現在のグループ名を表示します。

### ・新グループ名

変更するグループ名を入力します。グループ名は半角英数字32文字以下で入力してください。



# システム設定

中継サーバーシステムの動作に関して、以下の設定を行います。中継システムの終了または再起動を行うこともできます。

- ・システム設定(事前認証、排他制御、ネットワーク設定、運用画面設定、保存期間設定)
- ・アラーム通知
- ・終了・再起動

## システム設定ページ

設定メニューから[システム設定]をクリックして表示します。

このページで、中継サーバーシステムの基本設定を行います。

### ・事前認証

中継サーバーシステムにアクセスする際、事前認証のあり/なしを選択します。

「なし」にすると、ユーザー認証が必要になるまで、ユーザー認証画面は表示されません。「あり」にすると、運用ページにアクセスするとき、必ずユーザー認証画面が表示されます。このとき、認証を行うことによって、以降の認証操作を省略することができます。ただし、権限のないカメラを選択、または権限のない操作を行った場合、認証画面が表示されます。

### ・排他制御

カメラを排他制御するための方法を設定します。

**ロックモード:** ロックモードは、ユーザーが使用中のカメラをほかのユーザーから操作できなくするためのモードです。例えば、User1がCamera1にアクセスしている場合(Camera1をUser1がロックしている状態)、他のユーザーはUser1が別のカメラを選択するまでCamera1にアクセスすることはできません。ただし、ロック状態になり続けるのを防ぐため、最後に操作してから10分経過すると自動的に制御権を解放します。

**タイムアウトモード:** ユーザーが制御権を取得して制御保持時間で選択した時間が経過すると自動的に制御権が解放されるモードです。解放されるまでの時間、他のユーザーは操作できません。

### ・制御保持時間

タイムアウトモード選択時の制御権を解放するまでの時間を選択します。ロックモードを選択した場合、この値は無視されます。以下から選択できます。

30、60、90、120、150、180(秒)

### ・Proxyサーバー

Proxyサーバー経由でカメラサイトからの画像を取得する場合、「使用する」にチェックし、ProxyサーバーのIPアドレスとポート番号を入力します。ポート番号はIPアドレスに続けて「コロン(:)ポート番号」のように入力します。

入力例: 192.168.0.50:85

Proxyサーバーを使用しない場合は「使用しない」にチェックします。

### ・Proxy除外リスト

この設定は、Proxyサーバーを使用する場合に設定します。Proxyサーバーを

# システム設定

経由せず直接画像を取得するネットワークカメラまたはネットワークインターフェースユニットのIPアドレスを入力します。複数指定する場合、コンマ(,)で区切って入力してください。

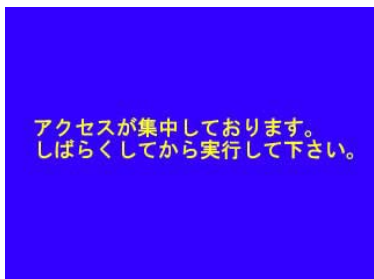
## ・最大同時アクセス数

中継サーバーシステムに、同時にアクセスを許可するユーザー数を選択します。以下から選択できます。

12、15、20、30、45、60、80、100、150\*、200\*

※: システムタイプがタイプ2の場合のみ選択できます。

アクセス数が設定値を超えた場合、そのユーザーに対し、カメラ画像の代わりにアクセスが集中していることを示す画像を配信します。



## ・4画面表示ボタン

カメラ操作メニューに[4画面表示]を表示し、4画面操作を可能にするかどうかを選択します。

**あり:** [4画面表示]を表示します。

**なし:** [4画面表示]は表示しません。

## ・ライブ画像送出設定

この設定は、MPEG-4で画像を配信するカメラを使用する場合、中継サーバーシステムからユーザーサイトにライブ画像を送出する際の配信方法を選択します。

**ユニキャスト:** MPEG-4のライブ画像をユニキャストで配信します。

**マルチキャスト:** MPEG-4のライブ画像をマルチキャストで配信します。「マルチキャスト」を選択する場合は、サーバーPCのLANカード(eth0)を「配信側」に設定してください。

**注:** 操作制限を行っているカメラの画像は、ユニキャストで配信されます(マルチキャストを選択しても、ユニキャストで配信されます)。なお、この設定は、MPEG-4の画像取得とは関係ありません。MPEG-4で画像を配信するカメラの設定は、「ユニキャスト」に設定してください。

## ・画像更新間隔

JPEGで画像を配信するカメラを使用する場合、PCが中継サーバーシステムに画像を取得しに行く間隔を選択します。以下から選択できます。

Very Fast、Fast、Middle、Slow、Very Slow

中継サーバーシステムとユーザーサイトを100Mbps回線速度で接続する場合、下表を目安に設定してください(すべてのカメラの画像サイズが同じ場合)。更新間隔が適正でないと、画像が正しく表示されないことがあります。

最大同時アクセス数	QVGA	VGA
12	Very Fast	Middle
15	Fast	Middle
20	Fast	Slow
30	Middle	Slow
45	Middle	Very Slow
60	Slow	Very Slow
80	Slow	この組み合わせは推奨しません
100	Slow	この組み合わせは推奨しません
150(タイプ2のみ)	Very Slow	この組み合わせは推奨しません
200(タイプ2のみ)	Very Slow	この組み合わせは推奨しません

MPEG-4で画像を配信するカメラは、カメラ側の設定によって画像が配信されるため、この設定は無視されます。

## ・録画保存期間

録画データ用ディスク領域に録画されている画像の保存期間を選択します。以

# システム設定

下から選択できます。

7日、15日、30日、60日、90日、180日、制限なし

選択した日数が経過した画像は自動的に削除されます。ただし、保護領域に録画された画像は削除されません。

## ・イベント保存期間

データベースに記録されているイベント情報の保存期間を選択します。

7日、15日、30日、60日、90日、180日、制限なし

選択した日数が経過したイベント情報は自動的に削除されます。情報が削除されたイベントをイベント検索で検索することはできません。

## ・[設定更新...]

クリックすると、確認メッセージが表示されます。変更内容を更新するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。

**注:** 設定更新を行わずに、他のページに移動すると、変更内容は中継サーバーシステムに反映されません。

## アラーム通知設定ページ

設定メニューから[システム設定]→アラーム通知タブをクリックして表示します。

このページでアラーム発生時の中継サーバーシステムの動作を設定します。

## ・Eメール通知

Eメールで通知するアラームの種類を選択します。アラームの種類を選択すると、アラーム発生時の画像を見るためのアドレスが記載されたメールが送信されます。

**注:** Eメールでアラーム発生を通知する場合、以下のことに注意してください。

- ・Eメールを送信する場合、サーバーPCのLANカード(eth0)を「配信側」に設定してください。
- ・以下の場合、Eメールで中継サーバーシステムのIPアドレスを正しく通知できません。
  - ・サーバーPCのLANカード(eth0)が「配信側」に設定されていないとき
  - ・中継サーバーシステムとインターネットの間にルーターなどを設置しNATなどのアドレス変換機能を使用しているとき  
この場合、/usr/local/s3/template/にあるtemplate\_alarmで始まるすべてのファイルをエディターで開き、「%i」をインターネットからアクセスできるアドレスに修正してください。
- ・以下の場合、通知されたアドレスをクリックしても画像は見られません。
  - ・アラーム録画設定ページの「録画」が「しない」に設定されている場合
  - ・画像フォーマットをMPEG-4に設定しているカメラでアラームが発生した場合

# システム設定

- ・カメラサイトと中継サーバーシステムの間ルーターなどを設置し、中継サーバーシステム側(WAN/LAN側)のIPアドレスを複数台のカメラで共用すると、中継サーバーシステムはどのカメラでアラームが発生したかを特定することができなくなります。この場合、一番小さいカメラ番号のカメラでアラームが発生したもとして扱います。

**アラームと映像取得失敗を通知する:** カメラサイトでアラームが発生した、または映像取得に失敗したとき、Eメール宛先設定ページで設定したメールアドレスにEメールを送信します。

**アラームを通知する:** カメラサイトでアラームが発生したとき、Eメール宛先設定ページで設定したメールアドレスにEメールを送信します。

**映像取得失敗を通知する:** 映像取得失敗時、Eメール宛先設定ページで設定したメールアドレスにEメールを送信します。

**通知しない:** Eメールは送信しません。

**【映像取得失敗】とは:** 中継サーバーシステムは、カメラサイトからの映像が停止したとき(受信できなくなったとき)に映像取得失敗(ビデオロス)と判断します。主な原因には、ネットワーク障害やカメラの故障、カメラの電源OFF、映像ケーブルの断線などがあります。

## ・宛先

「Eメール宛先リストへ」をクリックするとEメール宛先設定ページを表示します。このページで、通知先のメールアドレスを設定します。

## ・差出人

差出人のメールアドレスを半角文字128文字以下で入力します。

## ・TCPアラーム

アラーム発生時、TCPアラーム設定ページで設定した端末にアラーム発生を通知するかどうかを選択します。TCPアラームを使用するためには、専用ソフトウェアが必要です。専用ソフトウェアは、販売店にご相談ください。

**アラームを通知する:** アラーム発生時、TCPアラーム設定ページで設定した端末に通知します。

**通知しない:** TCPアラーム通知は行いません。

## ・宛先IPアドレス

「TCPアラームリストへ」をクリックするとTCPアラーム設定ページを表示します。このページで、通知先端末のIPアドレスを設定します。

## ・[設定更新...]

クリックすると、確認メッセージが表示されます。変更内容を更新するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。

**注:** 設定更新を行わずに、他のページに移動すると、変更内容は中継サーバーシステムに反映されません。

# システム設定

## Eメール宛先設定ページ

アラーム設定ページから「Eメール宛先リストへ」をクリックして表示します。このページでアラーム発生を通知するメールアドレスの確認と登録(20アドレスまで)ができます。

番号	宛先メールアドレス	使用言語	ターミナルタイプ
1	root	Japanese	GIF携帯電話
2	root	Japanese	JPEG携帯電話
3		Japanese	PC
4		Japanese	PC
5		Japanese	PC
6		Japanese	PC
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18		Japanese	PC
19		Japanese	PC
20		Japanese	PC

### ・宛先メールアドレス

通知先のEメールアドレスを半角文字512文字以内で入力します。削除するときは、表示されているEメールアドレスを削除してください。

### ・使用言語

Eメール本文の言語を選択します。

**Japanese:** 日時は、年月日の形式です。

**American:** 日時は、月日年の形式です。

**British:** 日時は、日月年の形式です。

### ・ターミナルタイプ

Eメール送信先の端末の種類を選択します。端末の種類で、Eメールで通知されるアドレスで確認できる画像サイズが決まります。

**GIF携帯電話:** GIFの画像を表示できるiモード端末またはFOMA端末にEメールを送信します。画像サイズは、横120×縦90ピクセルです。

**JPEG携帯電話:** JPEGの画像を表示できるiモード端末またはFOMA端末にEメールを送信します。画像サイズは、横160×縦120ピクセルです。

**PC:** PCで受信するEメールアドレスにEメールを送信します。画像サイズは、カメラが配信する画像サイズです。

### ・[設定&アラーム通知設定へ...]

クリックすると、確認メッセージが表示されます。設定内容を登録するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。登録後、アラーム通知設定ページに戻ります。

**注:** 設定を行わずに、他のページに移動すると、変更内容は中継サーバーシステムに反映されません。

# システム設定

## TCPアラーム設定ページ

アラーム設定ページから「TCP宛先リストへ」をクリックして表示します。このページでアラーム発生を通知する端末(IPアドレス)の確認と登録(20アドレスまで)ができます。



### ・宛先IPアドレス

XXX.XXX.XXX.XXXの形式でカメラのIPアドレスを入力します。「XXX」は0～255までの10進数で指定します。

### ・[設定&アラーム通知設定へ...]

クリックすると、確認メッセージが表示されます。設定内容を登録するときは、確認メッセージで[OK]をクリックします。登録後、アラーム通知設定ページに戻ります。

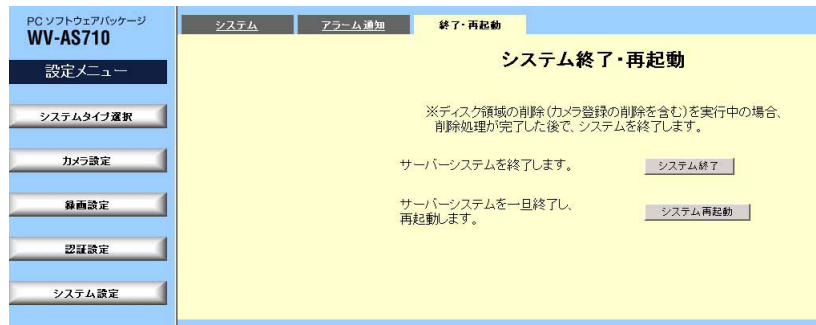
**注:** 設定を行わずに、他のページに移動すると、変更内容は中継サーバーシステムに反映されません。

**重要:** 中継サーバーシステムと機器がIP Reachableの場合のみ、TCPアラームを通知できます。

# システム設定

## 終了・再起動

中継サーバーシステムの終了、再起動を行うページです。



能で行ってください。

- 中継サーバーシステムがディスク領域の変更などの処理を行っている場合、終了が受け付けられないことがあります。処理終了後にシステム終了操作を行ってください。

### • [システム終了...]

クリックすると、確認メッセージが表示されます。中継サーバーシステムを終了するときには、確認メッセージで[OK]をクリックします。終了処理が完了すると、「サーバーシステム終了」メッセージが表示されます。

**注:** この操作で終了するのは、中継サーバーシステムだけです。Red Hat Linuxは終了しません。

### • [システム再起動...]

クリックすると、確認メッセージが表示されます。

**注:** この操作で再起動するのは、中継サーバーシステムだけです。Red Hat Linuxの再起動は行いません。

**注:** 中継サーバーシステムの終了または再起動を行うときは、以下の内容に注意してください。

- 中継サーバーシステムの終了は、必ずこのページで行ってください。また、操作後、「サーバーシステム終了」メッセージが表示されることを必ず確認してください。
- Ctrl+Cキーやkillコマンドなどで強制終了を行うと、中継サーバーシステムが使用する録画データ用ディスク領域の画像データが破壊されます。システムの終了は必ず管理者機能で行ってください。

# 故障かな!?

症状	原因・対策	症状	原因・対策
中継サーバーシステムを起動できない	「Can't create s3.pid; running already or permission denied.」メッセージが表示されていませんか？ 中継サーバーシステムの2重起動のチェックが有効になっています。プロセスを確認し、中継サーバーシステムが既に動作していないか確認してください。動作していない場合は、前回の起動が強制的に終了された可能性があります。/var/run/ディレクトリにs3.pidファイルがあるかどうかを確認し、あれば削除してください。	カメラ画像は見えるが、カメラを操作できない	• 他のユーザーが操作している可能性があります。しばらくしてから再操作してください。 • オペレーター以上のユーザーでないと操作できないように制限がかかっている可能性があります。ご自分のユーザータイプがわからない場合は管理者にお問い合わせください。 • WV-NM100またはWV-NS320を操作する場合、個別カメラ設定ページの「映像取得ユーザー」と「映像取得パスワード」に、カメラに登録されているカメラ制御が可能なユーザー名とパスワードを入力してください。
画像が取得できない	• 中継サーバーシステムは起動されていますか？ • ネットワークインターフェースユニット、カメラの電源は入っていますか？ • カメラ設定のIPアドレスに誤りありませんか？ • ネットワークの状況により、まれにWebブラウザからの画像自動更新が止まる場合があります。そのような場合は、更新ボタンを押してください。 • PCの画面は24ビットカラー以上に設定されていますか？ • ネットワークインターフェースユニットの動作モードは正しく設定されていますか？ 中継サーバーシステムとネットワークインターフェースユニットを組み合わせて使用する場合は、ネットワークインターフェースユニットの設定を4to1モード以外に設定してください。詳しくは、ネットワークインターフェースユニットの取扱説明書をお読みください。	カメラ選択メニューでカメラを選択できない カメラを選択しても画像が切り替わらない	• カメラ本体は接続されていますか？ • カメラ設定ページのIPアドレスの設定とカメラサイトの設定は一致していますか？
iモードで使用しているとき、画像表示が途中で止まる	回線状況などにより、データのダウンロードが中断された可能性があります。 しばらくしてから更新を行ってください。	ブルーバックの静止画像が表示される	• カメラの電源は入っていますか？ • ネットワークインターフェースユニットの電源は入っていますか？ • カメラ休止スケジュール機能が有効になっていませんか？ • ネットワークインターフェースユニットと本中継サーバーシステム間の通信はできますか？→Pingコマンドで確認してください。 • ネットワークインターフェースユニットのIPアドレスおよびカメラのチャンネルが正しい値に設定されていますか？ • ネットワークインターフェースユニットの認証機能がONになっていませんか？→アクセス可能なユーザー名およびパスワードを設定してください。 • アナログ回線など通信レートが遅い回線を使用している場合、まれに表示されることがあります。そのような場合は画像取得間隔を大きめに設定してください。
[VGA]/[QVGA]/[CIF]/[QCIF]ボタンで画像サイズを変更できない	Webブラウザの設定で、「Cookieをブロックする」、または「無効にする」に設定していませんか？ Cookieを受け入れる設定に変更してください。		



# 故障かな!?

症 状	原因・対策	症 状	原因・対策
プリセット操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>カメラにプリセット機能は搭載されていますか?</li> <li>カメラにプリセットポジションは設定されていますか?</li> </ul>	アラームや画像取得に失敗しても、設定したアドレスにメールが届かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>アラーム設定でメール機能を使用する設定になっていますか?</li> <li>サーバーのメール機能は正常に動作していますか? 中継サーバーシステムが動作しているマシン上でmailコマンドを使用するなど、指定したアドレスに届くかどうか確認してください。</li> <li>メールアドレスに間違いはありませんか?</li> </ul>
カメラがホームポジションに戻らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>カメラにプリセット機能は搭載されていますか?</li> <li>カメラにホームポジションは設定されていますか?</li> </ul>	ユーザー認証画面をキャンセルしても新しいユーザー認証パネルが表示される。	<p>Webブラウザ（ソフトウェア）を強制終了してください。強制終了のしかたは、お使いのOSによって異なります。OSに付属されている説明書をお読みください。</p>
再生できない、録画できない、検索できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>操作しているカメラのアクセス権はありますか? アクセス権があるにもかかわらず左記の状態になるときは管理者にお問い合わせください。</li> </ul>	トップページ、運用ページ、管理者用ページが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドレスに間違いはありませんか?</li> <li>Apache HTTP Serverは起動していますか?</li> <li>HTML文書の記述に誤りはありますか?</li> <li>Apache HTTP Serverの設定ファイルの記述に誤りはありますか?</li> </ul>
録画した時刻で検索したが、検索結果が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバーの時計とPCの時計は一致していますか? 検索時、中継サーバーシステムの時計を使用します。PCと中継サーバーシステムの時計が不一致の場合、検索結果に何も表示されないことがあります。サーバーの時計に、パソコンの時計を合わせてお使いください。</li> <li>サーバーの時計は正しい時刻に設定されていますか? 中継サーバーシステムは、サーバーの時刻を録画時刻として使用しています。サーバーの時計は、常に正しい時刻に調節してください。</li> </ul>	JPEG画像の一部が欠ける	<p>Windows 2000とInternet Explorer 5.5を組み合わせると、JPEG画像の一番下の1ラインが欠けて表示されることがあります。Internet Explorerを6.0 SP1にバージョンアップすることで解消します。</p>
再生画像が表示されない、または再生画像にカメラ番号、時刻が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>Javaアプレット、Java Script、およびActiveXが使用可能になっていますか?</li> </ul>	カメラからの画像を取得できなかったり、アラームが正しく動作しないことがある	<p>DDNSサーバー使用時、IPアドレスの変更情報が、使用しているDNSサーバーを更新するまでの間にアクセスすると、このような現象が発生することがあります。このような場合は、固定IPでの使用を推奨します。</p>
録画できなくなった	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスク領域がデータで満杯になっていませんか? 必要であればバックアップを取り、保護領域を解放してください。または、ディスク領域を追加してください。</li> </ul>		

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WV-AS710
	販売店名	☎ (      )      -				

## 松下電器産業株式会社

### AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号      電話   フリーダイヤル   0120-878-410